

向井さん・三野さんが 北海道代表として出場

全国青年
農業者会議

全国青年農業者会議（日クラブ主催）代々木オリンピック記念センターの連代表として加賀郡の向井芳和さんと三野さんが参加。夜合経営の確立をめざして、土曜「福袋農家」における目標の生産と活用、地方の向上などについて発表しました。

プロ意識で農業に 取り組む姿を痛感

加賀 向井 芳和

全国青年農業者会議は三月三、四、五の三日間わたって、代々木オリンピック記念センターへ向かい、北海道から三名が出席しました。この会議は日クラブが主催し、これからの日本と青年の役割という統一テーマを決め、各資料に分かれ、農業者の計画生業、PRなどについて、いろいろと話し合いました。また夜は福袋作りということで、地区対抗ゲームやアトラクションを行いました。開会式の日でしたが、この三日間、特に印象に残ったことは、一人一人が農業を真剣に考え、行動する姿を痛感したことです。動もついていたプロ意識を感じました。

毎月1日は
「省エネの日」

省エネ知識

テレビつけっぱなしになっていませんか？
テレビがついている時間を一日一時間短くすると、年間約300円節約できる節約になります。

知来別地区生涯教育振興会が発足

心のふれ合う地域へ

多彩な事業計画など決定

知来別地区の生涯教育推進として、知来別地区生涯教育振興会が、三月二十一日（土）午後二時から、同会会館で開かれ、新会長に就任された。この日は、各担当者が事業計画の発表を行い、今後の活動方針が決定された。

重宝を継承する事業計画

- ▽ 地域の歴史・文化を継承し、後世に伝える。
- ▽ 地域の歴史・文化を継承し、後世に伝える。
- ▽ 地域の歴史・文化を継承し、後世に伝える。

生涯教育の推進

- ▽ 生涯教育の推進
- ▽ 生涯教育の推進
- ▽ 生涯教育の推進

役員

会長 小島 昭博
副会長 佐々木 正三
事務局長 佐々木 正三
監事 佐々木 正三
顧問 佐々木 正三
常務理事 佐々木 正三
理事 佐々木 正三
池田 正三
北山 正三

1979年6月号広報まっかり

1981年4月号広報まっかり

成人学習アンケート(下)

気軽に参加できる「学習の場」作りを



広域青年教室、料理コース（3月8日）

先月号に引き続き「アンケート」調査の結果をお知らせいたします。今回は主に「今後の学習への希望」「余暇時間」などについてです。村民の5人のうち4人（80%）は「身につけたい」と思っている知識や技能がある。とくに学習意欲については予想以上に高く「機会があったら何らかの学習に参加したい」という希望が多く見られました。

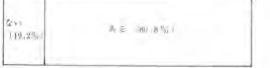
昨年「新公民館」が完成、今年「生涯教育推進事業」が起程、社会教育の体制は強化されてきています。いつでも、誰でも、気軽に参加できる「学習の場」作りをめざして

成人学習アンケートとは

生涯の社会教育、①民間団体の基礎資料とするため、市教育委員会では昨年9月～10月、20歳以上の村民600人を選り出し、22項目からなるアンケート調査を実施しました。

この調査における「学習」とはみなさんがいろいろなサークルや団体活動、スポーツ活動を行ったり、趣味をもつといったような広い意味での学習です。

問3. 身につけたいと思っている知識や技能がありますか。



大半の人が身につけたいものを持っているようです。しかし高齢者になるにつれてその傾向は弱くなっていきます。

問3で「あり」とお答えになった方だけ次のAにお答えください。

- A 日頃どんなことを身につけたいと考えていますか。1つ選んでください。**
- ①職業や生産活動に関すること 30.4(%)
 - ②趣味・芸術関係 26.6
 - ③家庭生活に関すること 20.4
 - ④保健・衛生・健康などのこと 10.0
 - ⑤スポーツ・レクリエーションなどのこと 8.8
 - ⑥郷土史・文化などのこと 1.3
 - ⑦その他 2.5
- 男性では「職業や生産活動」が半数以上を占める傾向が強く女性では「家庭生活」と「趣味・芸術」が、若い人は「スポーツ・レクリエーション」・「健康」・「郷土史」などが多く見られています。

問1. ふだんの日、まとまった自由に使える時間は、どれくらいありますか。



問2. その自由に使える時間をどのようにして過ごしていますか。4つ選んでください。

- ①テレビ・ラジオなどで 35.4(%)
 - ②家庭・家事の仕事 22.0
 - ③趣味・レクリエーション 13.9
 - ④勉強・読書 9.9
 - ⑤人となく、ごろごろと 6.1
 - ⑥交際・友だちづきあい 4.6
 - ⑦パソコン・ワーケーションなど 3.8
 - ⑧その他 2.0
 - ⑨その他 2.3
- 10人以上の人が「テレビ・ラジオ」と答えており、男性の半数が「テレビ・ラジオ」、女性の半数が「家庭の仕事」などで時間を過ごしているようです。「人となくごろごろ」と「読書」などが意外に少ないのが注目されます。

1981年4月号広報まっかり

成人学習アンケート(上)

多くの人が持っている「学習意欲」

この調査における「学習」とはみなさんがいろいろなサークルや団体活動、スポーツ活動を行ったり、趣味をもつといったような広い意味での学習です。



2月28日・鏡町内会婦人部の料理講習会（公民館）

真狩村民の4人のうち3人までが教育委員会の各種学級・講座・公民館活動に「参加している」「あるいは「参加したい」と考えている。真狩村教育委員会が昨年実施した「成人の学習状況と学習希望に関するアンケート」調査の結果によるものです。

「みなさんは毎日の生活の中でどのような学習をしたか」と思っているのですか。昨年九月～十一月、二十歳以上の村民六百人を無作為に抽出し、今後の社会教育、公民館運営の基礎資料を作るため、二十二項目からなるアンケート調査を実施しました。

回収率は三百九十五人、回収率六十五・八二％といふひとつ低かったのが残念です。回答してくれた方、町内会長さん、部会長さんとのご協力に感謝いたします。

主な内容につきましては、二面におつづいて掲載させていただきます。

夜も開放します

グラフの数字は年齢・性別・職業によってもかなりの違いを見せていました。しかし教育委員会の各種学級講座に参加したことがある回答者（四八・七）が参加するつもり（五三・五）と答える割合と全体の七・六四の四のうち三人が興味を示して見ます。また、参加したくとも、時間的にゆとりがない、という人も多かったです。

グラフの数字は年齢・性別・職業によってもかなりの違いを見せていました。しかし教育委員会の各種学級講座に参加したことがある回答者（四八・七）が参加するつもり（五三・五）と答える割合と全体の七・六四の四のうち三人が興味を示して見ます。また、参加したくとも、時間的にゆとりがない、という人も多かったです。

この調査は、村民の方々が、毎日の生活で、どのような学習をしたら良いかを調査し、村民のたのめ成人学習の基礎資料を得たために行いました。調査結果を分析すると、社会教育の促進にたいして関心と期待の大きいことが、確認されています。皆さんから寄せられたご意見を、できるだけ取り入れていきたいと思っております。また、夜も開放します。市街地住民の参加も、ぜひお願いいたします。また、夜も開放します。市街地住民の参加も、ぜひお願いいたします。

町内会長さん、部会長さんにご協力いただきました。

公民館図書室
真狩村教育委員
森谷 甫

1981年3月号広報まっかり

真狩高校が完成



残る学校生活を有意義に
三年 乾 京子

新校舎落成式が行われ、残る学校生活を有意義に過ごす。校舎の完成は、我々の生活に大きな変化をもたらす。この新しい校舎は、明るく、開放的で、学習に最適な環境を提供してくれる。私たちは、この新しい環境で、さらに学びたい。そして、この新しい校舎で、残る学校生活を有意義に過ごす。校舎の完成は、我々の生活に大きな変化をもたらす。この新しい校舎は、明るく、開放的で、学習に最適な環境を提供してくれる。私たちは、この新しい環境で、さらに学びたい。そして、この新しい校舎で、残る学校生活を有意義に過ごす。

在校生の喜びの声

新校舎落成式が行われ、在校生は喜びを表現している。校舎の完成は、我々の生活に大きな変化をもたらす。この新しい校舎は、明るく、開放的で、学習に最適な環境を提供してくれる。私たちは、この新しい環境で、さらに学びたい。そして、この新しい校舎で、残る学校生活を有意義に過ごす。

村内の発展は、すべて村の発展に貢献する。新校舎の完成は、我々の生活に大きな変化をもたらす。この新しい校舎は、明るく、開放的で、学習に最適な環境を提供してくれる。私たちは、この新しい環境で、さらに学びたい。そして、この新しい校舎で、残る学校生活を有意義に過ごす。

うれしき一杯

後輩のために大切に。新校舎落成式が行われ、在校生は喜びを表現している。校舎の完成は、我々の生活に大きな変化をもたらす。この新しい校舎は、明るく、開放的で、学習に最適な環境を提供してくれる。私たちは、この新しい環境で、さらに学びたい。そして、この新しい校舎で、残る学校生活を有意義に過ごす。

1982年1月号広報まっかり



藤川洋子さんが北海道代表として出場

第21回全国青年農業者会議が三月十日、十一日、十二日の三日間にわたって東京の国立オリンピック記念青少年総合センターで行われ、全国から四百二十名の農業者が参加しました。藤川洋子さんは、北海道代表として出場しました。彼女は、この会議で、全国の農業者と交流し、北海道の農業の発展と今後の展望について、積極的に発言しました。また、北海道の農業の現状と今後の展望について、積極的に発言しました。また、北海道の農業の現状と今後の展望について、積極的に発言しました。

自分から進んで経営に携わっている。藤川洋子さんは、北海道代表として出場しました。彼女は、この会議で、全国の農業者と交流し、北海道の農業の発展と今後の展望について、積極的に発言しました。また、北海道の農業の現状と今後の展望について、積極的に発言しました。また、北海道の農業の現状と今後の展望について、積極的に発言しました。

1982年4月号広報まっかり



金丸吉照さんと「百合娘」

後志家畜共進会三・四歳馬で最高位受賞

八月に行われた第三十一回後志家畜共進会で、本村から馬の部で出品した字光の金丸吉照さん所有の三歳馬百合娘と四歳馬ヤノキヨヒメが共に一位となり、最高位を獲得しました。この大会には、二十五頭の馬が参加。審査は、馬の容姿、つや等を中心に行われました。二頭の中でも三歳馬の百合娘（この名前は、金丸さんの子供の名「百合枝」からとってつけたそうです）は、人間の歳でいうと約二十歳、体重は約一千二百ポンド（種馬で八百ポンド）とちよつと太めですが、きれいな顔だちのやさしい目で、さしずめ美人と評判のところ。また、九月十日札幌で第八回北海道総合家畜共進会が行われ、馬の部で今回後志から初めてこの三歳馬百合娘が出品され、二位を受賞いたしました。こちらの大会は四年に一度開かれる、さしずめ家畜のオリンピックといつたところ。この大会には全道各地から三歳馬十二頭、四歳馬十二頭が出品され、審査が行われ、この受賞となったものです。

1982年7月号広報まっかり

1982年11月号広報まっかり

美原生涯学習会 発足

- 会長 高島洋子
- 副会長 大橋正樹
- 事務局長 鈴木春樹
- 理事 体育部長 川上明
- 文化部長 江崎洋子
- マリエ 尾久 浩
- 監査 木本 茂
- 大木 幸司
- 役員 佐藤 中谷明光 手
- 文化部長 三浦政成 白
- 川崎 依藤 謙
- 婦人部 一本松 信子
- 山下 幸子 真山 登子

心のふれあう地域づくりを

心のふれあう地域づくりを、五十年の歴史を誇る御保内地区生涯教育振興会が、今年もまた、新たな一歩を踏み出した。この日は、御保内地区生涯教育振興会が、今年もまた、新たな一歩を踏み出した。

御保内地区生涯教育振興会が発足

御保内地区生涯教育振興会が発足した。この日は、御保内地区生涯教育振興会が、今年もまた、新たな一歩を踏み出した。

御保内地区生涯教育振興会の設立にあたって

御保内地区生涯教育振興会の設立にあたって、御保内地区生涯教育振興会が、今年もまた、新たな一歩を踏み出した。

健全な家庭生活のために

健全な家庭生活のために、御保内地区生涯教育振興会が、今年もまた、新たな一歩を踏み出した。



1982年9・10月号広報まっかり

1982年産業まつり

東部地区友の会が発足

東部地区友の会が発足した。この日は、東部地区友の会が、今年もまた、新たな一歩を踏み出した。

生涯学習の道を

生涯学習の道を、東部地区友の会が、今年もまた、新たな一歩を踏み出した。



1983年3月号広報まっかり

1982年村民大運動会

第2回 まっかり福祉まつり

福祉はみんなの心から

多彩に

さぬきつどんはいかが、むつみ食堂

主婦の方のみ参加です

子供の遊具としては

各地で行われている福祉の姿

お年寄りへの福祉の

福社ボール展

各地で行われている福祉の姿

珍しいの遊具

だっだお田さん万

選りあさん万も具装です

みんがで手をかりあつてつくり、をスローガンに社
会福祉法人村社福祉協議会（佐々木正三会長）主催
のまつり開催。今年のはじめに、八月十八日、公民館を主
場に開催された。

午前十時からの開会式は、佐々木会長の挨拶で始まる。県
内村長のあいさつ、後援受戸長、村長会長の挨拶が続き、
あけられた。

会場には、あまみ講義社ボール展、保存食行商展、不
用品バーゲンコーナー、産品買取コーナー、消費啓蒙会完
結、計量目録大会、高級球花店がけられました。また
四国のおもてなしの輪、料理サービス、もちつき大会、ゲ
ートボール大会、一輪車大会、即興演奏会、剣道大会、田
子ソフトボール大会、即興パレード、刀や杖舞臺大
会などたくさんのおもしろ行わわ、あまみ講義りま、全場
に集まり大盛況でした。

用品バーゲンコーナー、産品買取コーナー、消費啓蒙会完
結、計量目録大会、高級球花店がけられました。また
四国のおもてなしの輪、料理サービス、もちつき大会、ゲ
ートボール大会、一輪車大会、即興演奏会、剣道大会、田
子ソフトボール大会、即興パレード、刀や杖舞臺大
会などたくさんのおもしろ行わわ、あまみ講義りま、全場
に集まり大盛況でした。

1985年8月号広報まっかり

「サフォーク種」の飼育始まる

10頭のめん羊を導入

農家にめん羊を無償で貸し付け、畜産の振興を図ることを目的に本年度よりめん羊の導入が始まりました。

七月三十一日、喜茂別町の農家から十頭のめん羊が到着し、導入先の社地区三戸の農家に引き取られました。

導入されたのは「サフォーク種」の雄一頭と雌九頭。住み慣れた畜舎から見知らぬ所へ連れてこられたせい、トラックから降ろされた時はオドオドした様子でしたが、すぐに牧草を食べはじめると、とても元気。時々「メエ」と鳴いて愛きよぶを振りまいていました。

「サフォーク種」めん羊は、飼育が簡単で肉の需要が高いことから、将来は羊蹄自然公園でニュージランド産の冷凍輸入肉でなく、真狩産の生肉が提供され、さらに羊毛・毛皮を使った民芸品の加工も期待できそうです。

桂長寿大学が開講

高齢者教養セミナー

高齢者の健康とホトケを助けるために、桂長寿大学が開講された。第一回は、徳和町社会福祉協議会、事務局長石田清雄さんを招き、高齢化社会に生きるというテーマで講演を行いました。地域社会で高齢者はどう暮らすのか、また村づくりにどうかかわっていくのかと地域の出い手としての高齢者について語られ、約三十名の参加者は熱心に耳を傾けていました。

●今後の講座は次のとおり
二回目 十月三十一日
三回目 十一月下旬
四回目 十一月下旬
五回目 十一月下旬
六回目 十一月下旬

●参加者が伝えたいこと
○私達が伝えたいこと
○私達が伝えたいこと

六十歳以上のみなさん、気軽に参加してください。

1986年9月号広報まっかり

1986年10・11月号広報まっかり

真狩のジャガイモが 全国区に

紹介
日本農業新聞が

真狩村のジャガイモが全国で紹介されました。この新聞記事は1月6日から3日間、東京ドームで開催された「ふるさとフェア'89」の期間中、竹下首相が真狩コーナーを訪れ、ジャガイモを購入、その様子が掲載されたものです。中でもこの記事をもとに真狩のジャガイモが全国に知られるようにと期待しています。

昭和64年(1989年)1月7日(土曜日) 日本農業新聞



**「ふるさとフェア'89」開幕
お国の特産品づくり**

東京ドーム

真狩村の特産品「真狩の男爵いも」が、ふるさとフェア'89の開幕式で展示された。真狩村長は、この機会に全国の消費者に真狩のジャガイモの魅力をアピールし、全国的な認知度を高めることを目指している。

真狩村の特産品「真狩の男爵いも」は、その独特の風味と食感から、全国的に人気を博している。このフェアでは、真狩村の特産品コーナーが、多くの来場者の注目を集めた。

真狩村長は、このフェアを通じて、全国の消費者に真狩のジャガイモの魅力を伝え、全国的な認知度を高めることを目指している。また、真狩村の特産品づくりを推進し、地域経済の活性化を図りたいと考えている。

1989年2月号広報まっかり

広報 まっかり



大野原町一行が来村し 靉王太鼓を披露

真狩地区の文化発信として、今年交流が深まっている大野原町の靉王太鼓一行が、1月11日(土曜日)午後、真狩村の真狩会館で来村し、靉王太鼓の演奏を披露した。真狩村長は、この機会に大野原町の靉王太鼓の魅力を伝え、全国的な認知度を高めることを目指している。

靉王太鼓は、その雄大な音と力強いリズムから、全国的に人気を博している。この演奏では、真狩村の来賓も大いに盛り上がった。真狩村長は、この演奏を通じて、大野原町の靉王太鼓の魅力を伝え、全国的な認知度を高めることを目指している。

真狩村長は、この演奏を通じて、大野原町の靉王太鼓の魅力を伝え、全国的な認知度を高めることを目指している。また、真狩村の文化発信を推進し、地域経済の活性化を図りたいと考えている。



平成2年9月1日 発行 北海道紋田郡真狩村 編集 振興課地域振興係

1990年9月号広報まっかり

長船さんがオランダへ 先進地の「花き産業」を研修




**藤沢 祐二さん
自転車で通勤
バラの栽培を勉強中**

私は、オランダに研修に行き、バラの栽培技術を勉強しています。オランダはバラの産産国で、バラの栽培技術が非常に発達しています。私は、オランダに研修に行き、バラの栽培技術を勉強しています。オランダはバラの産産国で、バラの栽培技術が非常に発達しています。

私は、オランダに研修に行き、バラの栽培技術を勉強しています。オランダはバラの産産国で、バラの栽培技術が非常に発達しています。私は、オランダに研修に行き、バラの栽培技術を勉強しています。オランダはバラの産産国で、バラの栽培技術が非常に発達しています。

私は、オランダに研修に行き、バラの栽培技術を勉強しています。オランダはバラの産産国で、バラの栽培技術が非常に発達しています。私は、オランダに研修に行き、バラの栽培技術を勉強しています。オランダはバラの産産国で、バラの栽培技術が非常に発達しています。



**長船 昌信さん
下宿先は日本語が
ペラペラのお宅**

私は、オランダに研修に行き、バラの栽培技術を勉強しています。オランダはバラの産産国で、バラの栽培技術が非常に発達しています。私は、オランダに研修に行き、バラの栽培技術を勉強しています。オランダはバラの産産国で、バラの栽培技術が非常に発達しています。

1991年3月号広報まっかり



**「生涯学習のまちづくり
100選」に選ばれる**

「生涯学習宣言の村」真狩に高い評価

生涯学習のまちづくり100選に選ばれた真狩村は、その高い評価を受けています。真狩村は、生涯学習のまちづくりを推進し、地域経済の活性化を図っています。真狩村は、生涯学習のまちづくりを推進し、地域経済の活性化を図っています。

北海道教育委員会が、地域の特色を生かした生涯学習のまちづくりを進めている個人・団体を選ぶ「生涯学習のまちづくり100選」にこのたび真狩村が選定され、四月十五日認定証の伝達式が行われました。

この事業、特色ある活動を進める自の個人・団体の資料を作り紹介することにより、多くの道民に生涯学習に対する理解を深めてもらい、道民一人ひとりによる生涯学習社会を実現させようというものです。

認定証の伝達式では、村内各学校の校長・教頭が出席、後志教育局の局長・次長より教育長に認定証と記念品が授けられ、このあと教育長が「まちづくり100選」に選ばれたことをお祝いし、今後さらに努力していきなさいと激励の言葉を述べられました。

1991年5月号広報まっかり

ドラマ・舞台のうらばなしに観客爆笑



「人生のうらばなし」
 特別講演会
 講師 山田 重雄 氏

生涯学習推進 人生のうらばなし
 特別講演会
 講師 山田 重雄 氏

「人生のうらばなし」は、山田重雄氏の代表作である。この作品は、人生のさまざまな場面を描き、観客を笑わせつつも、深い教訓を伝える。講演では、この作品の創作過程や、人生の教訓について話された。

1991年5月号広報まっかり

高校生が子供たちに じゃがいも植え手ほどき

高校・小学校で 連携学習



真狩高校が小学校の子供たちと一緒にじゃがいもを植える活動を行いました。この活動は、高校生と小学生の交流を促進し、地域貢献の一環として行われました。

これまで自分たちが植えたじゃがいもを収穫し、子供たちに配るという活動も行われてきました。この活動を通じて、子供たちは農業の楽しさや、地域貢献の大切さを学びました。

産業まつりの成功を願って



村民参加でじゃがいも植え

真狩村最大の祭り「ほほは」の準備期間中、村民参加でじゃがいもを植える活動が行われました。この活動は、地域の活性化と、じゃがいも産地の振興を目的として行われました。

1991年6月号広報まっかり

「生涯学習の村」まっかりが満10歳

9月27・28日 記念のつどい

村が昭和五十六年九月に生涯学習の村を宣言してから、今年で十年が経ちました。この記念のつどいでは、十年の歩みと今後の展望について話されました。

記念表彰受賞者回生
 ・地域における生涯学習の具体化を促進
 ・知事特別地区生涯学習振興会
 ・生涯学習の振興に顕著な功勞のあった方
 ・生涯学習の振興に顕著な功勞のあった方
 ・生涯学習の振興に顕著な功勞のあった方

1991年11月号広報まっかり

広報 まっかり

真狩中学校 大健闘の準優勝

第43回北海道中学校軟式野球大会

8月3日から6日までの4日間、旭川市で開催された第43回北海道中学校軟式野球大会で初出場の真狩中学校が準優勝。決勝戦で惜しくも旭川市の明星中学校に敗れたものの、見事な健闘ぶりでした。

ピッチャー	金川 弘(3年)	サード	真狩 浩介(3年)	ライト	渡辺 健(2年)
キャッチャー	高橋 誠(3年)	ショート	中野 貴(3年)	センター	山本 誠(2年)
ファースト	山崎 隆(3年)	レフト	前田 達(3年)	監督	山本 誠
セカンド	関根 智也(2年)	センター	井深 龍也(3年)		

第43回北海道中学校軟式野球大会
 真狩中学校

1992年8月号広報まっかり

広報 まっかり



泣いて笑ってがんばって

海老名香葉子さんが講演

エッセイストの海老名香葉子さんを招いての「平成4年度村づくり住民のつどい」が2月26日開催されました。海老名さんは昭和61年に夫の落語家・林家三平師匠が亡くなられて以来、おかみさんとして一門30名の弟子の面倒をみながら、各方面で活躍中です。この日は、これまでの人生60年の奮闘ぶりを約2時間にわたり講演、会場は笑いと涙で溢れました。

'93
2・3

No.359

平成5年3月20日 発行/北海道虻田郡真狩村 編集/総務課総務係

1993年2月号広報まっかり

広報 まっかり



先祖の地で「浦安の舞」

大野原町開基350年祭に出演

「昨年十月に姉妹組みした香川県大野原町が今年開基三百五十年を迎え、その記念祭が五月二・四日の二日間開催されました。真狩村からは郷土芸能「浦安の舞」が招かれ、二万人を超える大観衆を前に、赤沼恵さん、石村純香さん、大橋小奈江さん、遠藤洋美さんの四人の舞師が優雅な舞を披露しました。

'93
5

No.361

平成5年5月28日 発行/北海道虻田郡真狩村 編集/総務課総務係

1993年5月号広報まっかり

広報 まっかり



全道消防大会
小型ポンプ操作法の部で

やったぜ！初優勝

8月に行われた全道消防操法訓練大会で真狩消防団が見事に優勝しました。真狩消防団が出場した小型ポンプ操作法の部では全道から選ばれた8チームで優勝が争われ、高いレベルの競い合いの中、真狩消防団のより正確な操法が高く評価され、全道トップの成績を収めました。当日は、優勝を祝う街頭パレードも行われ、うれしい知らせに村中が喜びいっぱいになりました。

'93
9

No.364

平成5年9月24日 発行/北海道虻田郡真狩村 編集/総務課総務係

1993年9月号広報まっかり

広報 まっかり

「文化の村づくり、担って」



11月3日「国松登ギャラリー」オープン

今年7月から共和地区の旧北海道食産工場を改装工事、完成が待たれていた「国松登ギャラリー」が11月3日オープンしました。

国松氏は札幌市在住で北海道を代表する画家。ギャラリーにはこの国松芸術の魅力が伝わる27点の油絵・版画・素描画が展示され、今後村の文化施設の「核」として期待されます。

'93
12

No.366

平成5年12月1日 発行/北海道虻田郡真狩村 編集/総務課総務係

1993年12月号広報まっかり